

財界九州

8 2010
AUG.
No.1031

TOP INTERVIEW

大分銀行頭取 姫野 昌治氏
「大分経済の活性化へ、
地場企業の支援体制を強化していく」

空港と翼

九州・沖縄 交通インフラの“要”

エリアレポート

北九州 官民連携の「水ビジネス」始動
筑後 船小屋温泉復活」に挑む筑後市
佐賀 若手が主導する「新嬉野温泉」
長崎 「長崎サミット」で活性化推進
熊本 「熊本らしさ」強調する地元百貨店
宮崎 若地型観光」に取り組む日南市
鹿児島 県都の卸売市場整備計画」が始動
沖縄 IT産業の「すそ野拡大」が着々

<http://www.kyushu01.com>



外資系不動産投資会社を退社して、今年7月1日付で不動産仲介の九州レップ（福岡市）を立ち上げた白砂光規社長。同社長は

市場の潜在力感じて創業
九州と東京を橋渡し

ギャラリーには、今後多様化していくとみられる供養の新しいスタイルの提案をはじめ、アロマやお香、書籍やCDなどの商品が展示販売されている。

佐久間庸和社長は「グリーンフケアへの取り組みが全国的に増えるなか、こういった形での試みは珍しい。これまでと違う新しい折り、供養の形を提案していきたい。今後は紫雲閣グループの各拠点にギャラリーの展開を図ってきたい」と話している。

をしたい」と抱負を語る。

名古屋出身の白砂社長が、九州で新会社を旗揚げした理由は、地元出身の伴侶を得たことと、「4年3カ月の勤務経験を通じて九州の不動産市場のポテンシャルを高く感じていたため」。実は、今年1月に東京本社に異動になったが、「結婚を機に福岡に戻る決断をした」。

現在の不動産市況は低調だが、「そうした時期にはその時なりのビジネスのやり方がある。九州のスポーツスрманとして、首都圏の投資家の関心を九州に呼び込むような動きをしたい」と話している。

九経連で海外ビジネス促進
各県に足を運び意見を

拡大するアジア振興市場に気付
きつつも、海外ビジネスに踏み切
れない企業は多い。そこで九経連
では、この企業ジレンマを解決す
ることを目標に、九州地場企業の
海外ビジネスを強力に後押しでき
るような仕組み・支援体制構築に
向けた検討を行う「海外ビジネス
促進検討部会」を国際委員会内に